

2022年度 第2回理事会議事録

日時：2022年5月27日(金)17:00～17:50

場所：中央大学とオンラインのハイブリッド開催

出席理事(対面)：山上、猿渡、鳥海、所、鶴飼(遅刻)、堀、後藤(遅刻)、辻野、塩野

出席理事(オンライン)：田村、山田、山下、牧野(遅刻)、野々部、奥田、田中

欠席者：木庭

出席監事：松林、三嶋(遅刻)

庶務幹事：中山(書紀)

事務局：長谷

【審議事項】

A-1. 前回議事録の確認(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より、前回議事録の確認があり、承認された。

A-2. 入会・退会承認の件(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より、入会・退会状況の件についての説明があり、承認された。

A-3. シニア会員承認の件(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より、シニア会員承認の件についての説明があり、承認された。

A-4. 2022年度学会賞(秋季表彰)の件(田村表彰委員長)

田村表彰委員長より、2022年度学会賞の各賞の候補者及び推薦理由の要約の説明があり、承認された。猿渡副会長からの事例研究賞の受賞内容についての研究発表はあるのかと言う質問について、鳥海庶務理事から企業事例交流会での発表及びアブストラクトがあるという回答があった。これに対して猿渡副会長から学会誌で受賞発表の際にエビデンスとしてその事実を記載した方がいいという意見が挙げられた。

A-5. 2022年春季研究発表会・シンポジウム決算の件(山下研究理事)

山下研究理事より、2022年春季研究発表会・シンポジウムの決算についての説明があり、承認された。収益が昨年と比べて大きかった要因としては、オンライン開催による会場費が抑えられ、懇親会がなかったこと及び物品費が不要であったことなど挙げられるとの説明があった。

A-6. 2022年度ORセミナー年間予定について(堀普及理事)

堀普及理事より、2022 年度 OR セミナー年間予定についての説明があり、承認された。6月1日開催予定の第1回は参加者が150人を超える盛況さの報告があった。第3回の開催方法がハイブリッドで実施予定であることについて、鳥海庶務理事から開催場所は決定しているのかという質問があり、堀普及理事より、場所は未定であるがハイブリッドで実施したいという旨の説明があった。

A-7. 関西支部規約改正について(奥田支部理事)

奥田支部理事より、関西支部規約改正についての説明があり、承認された。

A-8. 2022 年度委員及び幹事委嘱の件(牧野編集理事)

牧野編集理事の都合により、報告事項の後に審議を行った。牧野編集理事より、2022 年度委員及び幹事委嘱の件についての説明があり、承認された。

A-9. 2022 年度対外委員の件(辻野渉外理事)

辻野渉外理事より、2022 年度対外委員の件についての説明があり、承認された。山上会長が代表となっていることに対して、学会推薦基準では「企業会長時は副会長による代行」となっているが問題ないのかという質問が鳥海庶務理事より挙げられた。これに対しては山上会長が了承済みであるという説明があった。

A-10. 名誉会員推薦の件(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より、名誉会員推薦の件の説明があり、承認された。

【報告事項】

B-1. 第39回学生論文賞応募募数の変更(田村表彰委員長)

田村表彰委員長より、第39回学生論文賞応募募のうち1件が修了年度の条件を満たしていなかったことから、第39回学生論文賞応募募数に変更が生じたとの報告があった。対策として、次回からは推薦状に修了・卒業時期を明記するように修正をしたとの追加報告があった。

B-2. 次回理事会議事予定(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より、次回の理事会は7月22日(金)に開催予定であることと、議案提出スケジュールについての説明があった。議案をアップロードの際にファイル名のエンコードを UTF-8 に設定するようとの注意があった。誤って Shift JIS 等でアップロードしてしまった場合は鳥海庶務理事に伝えれば対応していただけるとの説明があった。

【その他】

審議事項・報告事項終了後に今後の学会の在り方について等の意見交換が行われた。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2022 年度第 2 回理事会

議事録署名人

議長（会長） 代表理事 山 上 伸

（副会長） 代表理事 田 村 明 久

（副会長） 代表理事 山 田 昭 雄

（副会長） 代表理事 猿 渡 康 文

監 事 松 林 伸 生

監 事 三 嶋 英 俊